ビスどめレスビー羽子板ボルト　取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用　途

■ 小屋梁と軒桁、軒桁と柱、胴差と床梁及び通し柱と胴差の接合に使用します。

特　長

■ 羽根部とボルト部がプレス加工による一体成形となっています。
■ ビス施工のためかんざしのボルトが不要となり、プレカット加工の必要がありません。
■ 羽根部をコンパクトにすることで、4 寸巾の木材で座掘り無しの場合でもネジ山が十分に確保でき、ナットが締めやすくなっています。

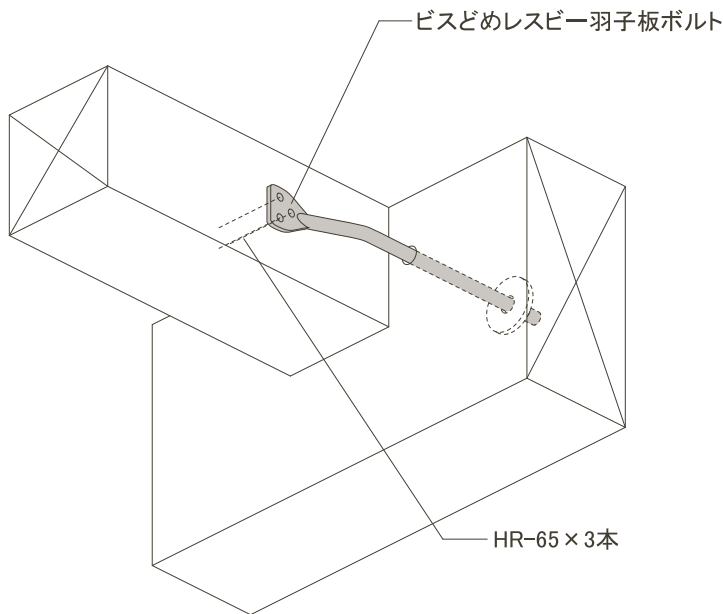
ハウスプラス確認検査（株）性能試験

建設省 告示1460号 第2号	短期基準接合引張耐力（P_0t）
[へ]対応	11.4kN

接 合 具

■ 専用ビス HR-65（グレー）×3本
■ ナット×1個

施工方法

①本体を付属の専用ビスで接合します。
②本体のボルトを木材と座金を介して締付けます。

※ビス施工のため、かんざしのボルトが不要です。

注意事項

■ 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!! ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク（ねじ込み）を加えないでください。
■ ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
■ ケガに注意!! 手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

K20151008A

本　社 ／ 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
Tel. 03-3696-6781　Fax. 03-3696-6770
技術的なご相談は　カネシンCSセンター
Tel. 03-5671-1077